

平成22年6月30日

「定住自立圏」全国市町村長サミット2010in南信州の開催

総務省は平成22年10月28日（木）、29日（金）に「『定住自立圏』全国市町村長サミット2010in南信州」を開催します。

1 開催趣旨

分権型社会にふさわしい安定した社会空間を地方圏に創り出すための「定住自立圏」の推進に取り組む市町村長が一堂に会し、それぞれの圏域で取り組む特色ある事例の発表、圏域の形成にあたって直面した課題の検討などを行い、相互に議論を深めるとともに、普及広報を行うことにより、「定住自立圏」の形成に向けた取組を促すことを目的として「定住自立圏」全国市町村長サミット2010 in 南信州を開催いたします。

2 日時及び開催場所

日時：平成22年10月28日（木）全体会・人材交流ひろば・交流会
29日（金）分科会・全体会総括
開催場所：飯田シルクプラザ（長野県飯田市育良町1-7）
飯田シルクホテル（長野県飯田市錦町1-10）

3 主催者

総務省
定住自立圏全国市町村長サミット2010in南信州実行委員会

4 次第

- <1日目 10月28日（木）> 飯田シルクプラザ
- 全体会 14:00～16:15
 - 総務省挨拶
 - 開催地挨拶
 - 来賓挨拶
 - 基調講演「定住自立圏の構想と思想」 佐々木 毅（学習院大学法学部教授）
 - 総務省施策紹介
 - 地域おこし協力隊事例発表
 - 地域力創造アドバイザー事例発表
 - 人材交流ひろば・交流会 16:30～18:00
 - 一般参加者、市町村長等による意見交換、情報交換の場として人材交流ひろばを設けます。
 - 人材交流ひろばに引き続き、立食形式の交流会を開催します。

<2日目 10月29日(金)> 飯田シルクホテル

○ 分科会 9:00~11:15

3つのテーマの分科会に分かれ、各分科会のコーディネーターと出席される市町村長の方々に取組事例の発表と意見交換を行っていただきます。

- (1) 「医療分科会」梶井 英治(自治医科大学地域医療学センター長)
- (2) 「地域づくり分科会」小田切 徳美(明治大学農学部教授)
- (3) 「産業振興分科会」藻谷 浩介(株式会社日本政策投資銀行参事役)

○ 全体会総括 11:30~12:30

2日間の意見交換を踏まえ、総括コーディネーターと分科会コーディネーターがパネルディスカッションを行います。

総括コーディネーター：辻 琢也(一橋大学大学院法学研究科教授)

5 申込先

参加に当たっては、事前に申込みが必要です。別紙パンフレットの申込様式にて、平成22年8月10日(火)までに参加申込窓口(0265-28-1748)あてにFAXにてお申し込みください。なお、申込時にいただいた個人情報、本サミットのご案内に必要な範囲で利用し、目的以外には利用しません。

※ 人材交流ひろば・交流会参加の場合、参加費は3000円です。

※ 定員(400名程度)に達した場合、締め切らせていただきますのでご了承ください。

※ 参加者には8月下旬に申込受付済書を発送します。

連絡先：地域力創造グループ 地域自立応援課
担当：乾課長補佐、西村係長、南川事務官
電話：03-5253-5392(直通)
FAX：03-5253-5537

「定住自立圏」 全国市町村長サミット 2010 in 南信州

地域をつなぎ、はぐくむ未来。

3,000m級の連峰「南アルプス」



300余年の伝統ある地芝居「大鹿歌舞伎」



古くより伝わる伝統神事
「湯立神楽（ゆだてかぐら）」



南信州最大の温泉郷
「昼神温泉」の露天風呂



南信州の特産品「市田柿」の柿すだれ



南信州独特の獅子舞形態「屋台獅子」



秋色に染まる天竜川の峡谷と JR 飯田線のローカル電車

◆開催日/平成22年 10月28日[木]・29日[金] ◆会場/長野県飯田市 シルクプラザ・シルクホテル

主催：総務省 定住自立圏全国市町村長サミット 2010 in 南信州実行委員会

後援：長野県市長会 長野県町村会

実行委員会事務局：飯田市企画部企画課内 TEL.0265-22-4511 FAX.0265-53-4511



「定住自立圏」 全国市町村長サミット 2010 in 南信州

分権型社会にふさわしい安定した社会空間を地方圏に創り出すための「定住自立圏」の推進に取り組む市町村長が一堂に会し、それぞれの圏域で取り組む特色ある事例の発表、圏域の形成にあたって直面した課題の検討などを行い、相互に議論を深めるとともに、普及広報を行うことにより、「定住自立圏」の形成に向けた取組を促すことを目的として「定住自立圏」全国市町村長サミット 2010 in 南信州を開催いたします。

開催にあたり、ご発言いただく市町村長の方々の他、自治体職員、地域づくり団体関係者、市民の方々等の一般参加者を募集いたします。

10/
28(木)

◆全体会 14:00～16:15 《シルクプラザ》

- 総務大臣挨拶
- 開催地挨拶
- 来賓挨拶
- 基調講演「定住自立圏の構想と思想」 佐々木 毅 (学習院大学法学部教授)
- 総務省施策紹介
- 地域おこし協力隊事例発表
- 地域力創造アドバイザー事例発表

◆人材交流ひろば・交流会 16:30～18:00 《シルクプラザ》

一般参加者、市町村長等による意見交換、情報交換の場として人材交流ひろばを設けます。人材交流ひろばに引き続き交流会を開催します。立食形式で軽食やドリンクをご用意しています。地域づくり団体関係者、NPO関係者の方々等、地域活性化に携わっている方々の参加をお待ちしております。

10/
29(金)

◆分科会 9:00～11:15 《シルクホテル》

3つのテーマの分科会に分かれ、各分科会のコーディネーターと出席される市町村長の方々に取組事例の発表と意見交換を行っていただきます。

《医療分科会》《地域づくり分科会》《産業振興分科会》

◆全体会総括 11:30～12:30 《シルクホテル》

2日間の意見交換を踏まえ、総括コーディネーターと分科会コーディネーターがパネルディスカッションを行います。

基調講演 「定住自立圏の構想と思想」



佐々木 毅 (学習院大学法学部教授)

1942年秋田県生まれ。東京大学法学部法学博士号取得。専門は政治学・政治学史。東京大学法学部長、同大学大学院法学政治学研究科長、同大学総長等を経て、2005年より現職。2005年紫綬褒章受章。総務省「定住自立圏構想の推進に関する懇談会」座長、科学技術・学術審議会学術分科会長、(財)明るい選挙推進協会会長、21世紀臨調共同代表等を務める。著書に『民主主義という不思議な仕組み』(筑摩書房)、『政治の精神』(岩波書店)等多数。

《総括コーディネーター》 辻 琢也 (一橋大学大学院法学研究科教授)



1962年北海道生まれ。東京大学大学院総合文化研究科(関連社会科学専攻)博士号取得。専門は行政学・地方自治論。東京大学助手、政策研究大学院大学助教授等を経て、2005年より現職。総務省「定住自立圏構想の推進に関する懇談会」委員、総務省「地方公共団体における事務の共同処理の改革に関する研究会」座長、国土交通省「社会資本整備審議会」委員等を務める。

3人に1人が高齢者となる超高齢社会の到来を目前に、各地方圏においては、人口流出の抑制や出生率の回復等によって、定住人口を確保することが、改めて強く求められています。今回のサミットにおいては、先進的に活動している各団体から貴重な実績報告や御提言をいただき、今後の定住自立圏のあり方をより実践的かつ実効的に探っていきたいと思えます。

医療分科会

梶井 英治 (自治医科大学地域医療学センター長)



1978年自治医科大学を卒業し、鳥取県立中央病院で研修の後、地域医療に従事。その後、母校に帰り、1998年地域医療学講座教授、2004年地域医療学センター地域医療学部門教授を経て、2008年から同センター長。総務省「定住自立圏構想の推進に関する懇談会」委員を務める。現在、総合医の育成や地域医療に係わる研究活動に従事しながら、地域医療の充実へ向けて地域における啓発活動に取り組んでいる。

今、全国の多くの地域で医師や救急体制の確保が困難な状況にあり、さらに公立病院の経営環境も厳しい状況に陥っています。ここでは、各々の市町村がかかえる地域医療の課題とその改善へ向けた取り組みの現状を共有しながら、地域医療の確保・充実へ向けたより具体的かつ効果的な方策について検討したいと思えます。

地域づくり分科会

小田切 徳美 (明治大学農学部教授)



1959年神奈川県生まれ。東京大学大学院農学研究科博士課程修了(農学博士)。専門は、農政学・地域ガバナンス論。高崎経済大学経済学部助教授、東京大学農学部助教授等を経て2006年より現職。著書に「農山村再生」(岩波書店)、『自立と協働によるまちづくり読本』(共著、ぎょうせい)等多数。総務省「過疎問題懇談会」委員、総務省「定住自立圏構想研究会」委員、国土審議会政策部会特別委員、全国地域リーダー養成塾主任講師等を務める。

地域づくりは、地域コミュニティの構築と新しい地域産業構造の形成が車の両輪となります。そのためには、行政の仕組みの革新も重要な要素です。こうした総合的取り組みにより、地域の新しい価値(地域の誇り)をどのように形成するのか。定住自立圏構想に取り組む全国の皆さんと、地域づくりのメッカ・飯田で語りましょう。

産業振興分科会

藻谷 浩介 (株式会社日本政策投資銀行参事役)



1964年山口県周南市生まれ。1988年日本開発銀行(現日本政策投資銀行)入行。米国コロンビア大学ビジネススクール留学、(財)日本経済研究所所長などを経ながら、地域振興の各分野で精力的に研究・著作・講演を行う。平成合併前3,200市町村の99.9%、海外59ヶ国を概ね私費で訪問。現場での実見に、各種統計数字、郷土史を照合して、地域特性を多面的に把握。2010年度より現職。近著に「デフレの正体」(角川新書ワンテーマ21)。

大企業主導のモノ大量生産・廉価販売システムは、現役世代人口減少→モノ内需減少や、世界的なモノ生産能力過剰に突き当たって座礁しました。他方、高齢者の膨大な貯蓄と余暇、アジア富裕層なる巨大集客交流市場の登場、自然環境や地域ブランドの経済価値増大など、地域の産業が自分の頭と努力で飛躍する鍵は、続々登場中です。この新たな時代取るべき指針は何か。現場の汗から生まれた智恵と実践に学ぼうではありませんか。

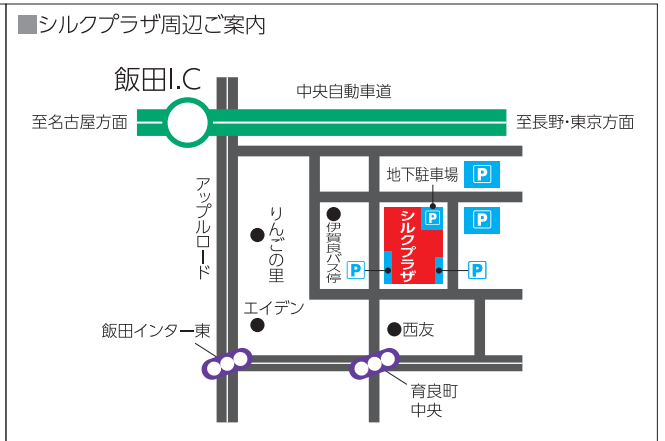
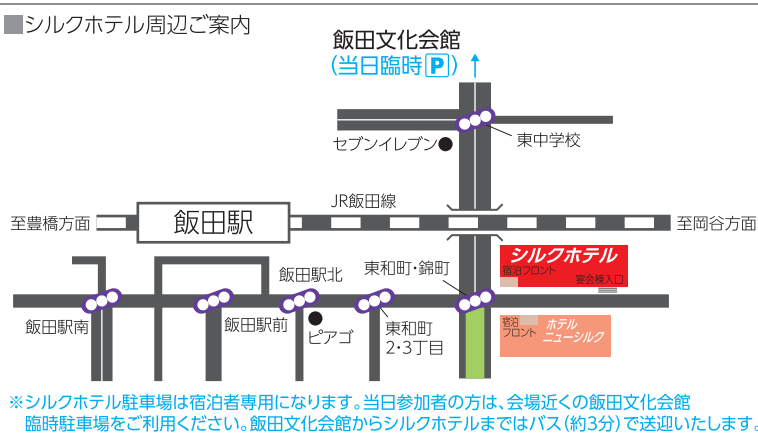
参加者募集

全体会・分科会に参加する市町村長と
聴講する自治体関係者等を募集しています。

参加・聴講を希望される方は、別添「参加申込書」により聴講を希望する分科会など
必要事項をご記入の上、ファクシミリにてお申し込みください。

参加費：無料 (人材交流ひろば参加の場合 参加費3,000円)

会場への (シルクプラザ・シルクホテル) 交通アクセス



お申込みの流れ

①参加申込書(別紙)のFAX送信

●送信先番号 **0265-28-1748**

●申込締切日/平成22年**8月10日(火)**

②申込受付済書の発送(8月下旬頃予定)

参加分科会等を決定の上、文書でお知らせします。

③人材交流ひろば参加費用の振り込み

人材交流ひろばの参加にあたり、お一人様3,000円の参加費用をご負担いただきます。支払い方法は上記②の申込受付済書記載の口座への振込となります。(振込費用はご負担ください。)

④当日来場・受付

申込受付済書をご持参ください。

【申込窓口】

株式会社 南信州観光公社
営業時間/8:30から17:30(土日祝営業)

TEL.0265-28-1747

FAX.0265-28-1748

※(株)南信州観光公社は本サミット運営委託業者(株)共立プランニングから参加申込窓口業務を請け負っています。申込時の個人情報については、本サミットに係る目的以外での利用はいたしません。